

北海道浮魚ニュース

平成 16(2004)年度 8 号 (通巻 No. 172)

2004 年 7 月 15 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 15 日に平成 16 年度第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報文が水産庁より発表されました。

今後の見通し (2004 年 7 ~ 9 月)

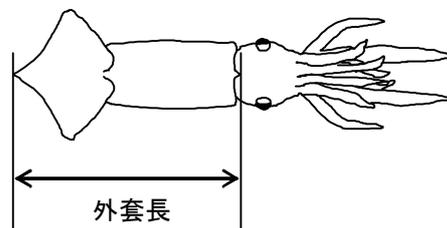
対象魚種 : スルメイカ

予測海域 : 常磐 ~ 三陸海域、
大畑 ~ 道南海域、
道東 ~ 根室海峡周辺海域

対象漁業 : いか釣り、底曳き、定置網

対象魚群 : 冬季発生系群 (2004 年級群)

注) 魚体の大きさは外套長で表示



1. 常磐 ~ 三陸海域 (いか釣り、底曳き、定置網)

- (1) 来遊量 : 2003 年を上回る。
- (2) 漁期・漁場 : 期間を通じて漁場となる。
- (3) 魚体 : 8 月は 20 ~ 23cm が主体。

2. 大畑 ~ 道南海域 (いか釣り、定置網)

- (1) 来遊量 : 2003 年を上回る。
- (2) 漁期・漁場 : 期間を通じて漁場となる。
- (3) 魚体 : 8 月は 18 ~ 23cm が主体。

3. 道東 ~ 根室海峡周辺海域 (いか釣り、定置網)

- (1) 来遊量 : 2003 年を上回る。
- (2) 漁期・漁場 : 道東海域の漁場形成は 2003 年より早まる。
根室海峡周辺海域の漁場形成は 10 月以降になる。
- (3) 魚体 : 8 月は 20 ~ 22cm が主体。

今年の漁場一斉調査では、道南から道東周辺海域での分布密度が高かったため、今期 (9 月まで) の太平洋におけるスルメイカは、道南・道東ともに昨年を上回りそうです。

(文責 : 釧路水産試験場資源管理部, TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)

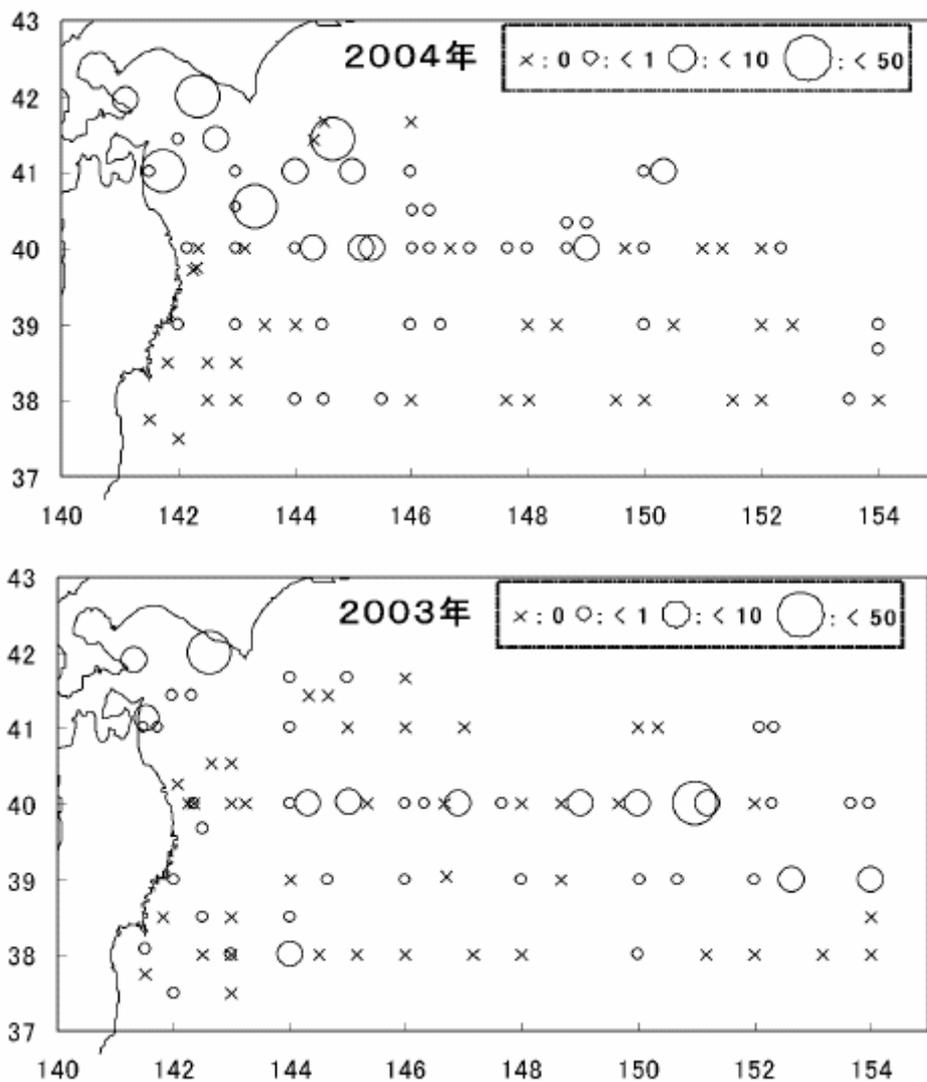


図1 漁場一斉調査におけるスルメイカの分布状況
単位 CPUE (イカ釣機1台1時間あたり漁獲尾数)

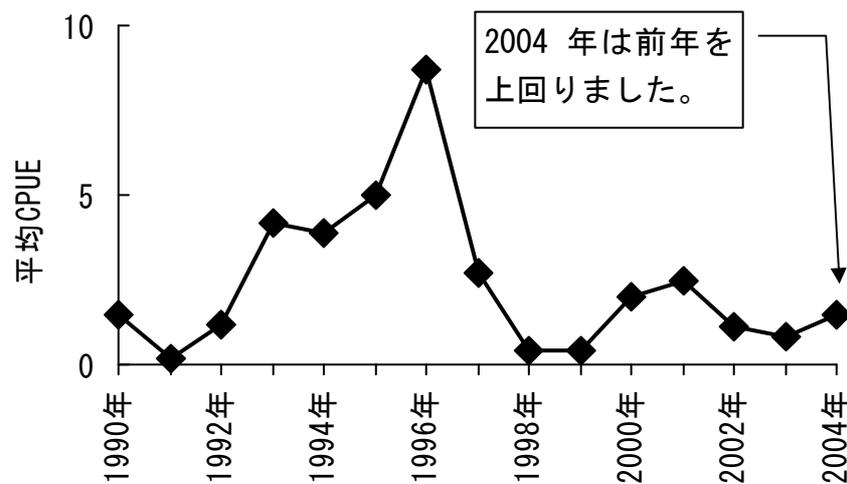


図2 漁場一斉調査におけるスルメイカの分布密度の経年変化

注) 図やその元データは、平成16年度第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報会議資料
(独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所取りまとめ) より。